



2009～2010年度RI会長
John Kenny



東京赤坂ロータリークラブ

No.1056 / 2009.8.7

例会 / 毎週金曜日12:30

例会場 / ANAインターコンチネンタルホテル東京
Tel 03-3505-1111

事務局 / 〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel 03-3505-5976

Fax 03-3505-6004

akasaka-rotary@w8.dion.ne.jp

http://www.k5.dion.ne.jp/~akasaka

Weekly Report

東京赤坂ロータリークラブ選報

「かけがえのない親睦を享受し、他者のためにつくす」

2009～2010年度・東京赤坂ロータリークラブテーマ / 四分一勝 会長

●本日の例会 / 2009年8月7日 第1080回 例会

卓話予定『食料の安全保障』

農林水産省大臣官房食料安全保障課課長補佐
河村 仁 氏

— ●先週報告 / 2009年7月30日 第1079回 例会 —

RI2750地区久邇邦昭ガバナー公式訪問

東京南RC・東京赤坂RC・東京麻布RC合同例会
(会場 東京會館 12Fロイヤルルーム)



あなたの手 卓話『ガバナー公式訪問にちなんで』
RI2750地区ガバナー
久邇 邦昭 氏 (東京南RC)

東京南 RC 大西会長より、
東京赤坂 四分一会長、東京麻
布 RC 伊藤会長をご紹介します。



東京南 RC・東京赤坂 RC・東京麻布 RC 例会風景



出席報告: (順不同・敬称略)

会員47名 / 出席28名・欠席27名 (出席規定免除者6名)

東京南RC出席 111名、東京麻布RC出席 15名

●次回予告 / 2009年8月21日 第1081回 例会

卓話予定『炭素繊維による水質浄化』

群馬工業高等専門学校 特命教授
小島 昭 氏

次週 8月14日 (金) の例会は、休会となります。

8月例会卓話、行事予定

4日(火) 火曜会 18:30～

ANA インターコンチネンタルホテル東京 36F

5日(水) 第2回補助金定例委員会 15:00～17:00

ガバナー事務所

7日(金) 第1080回例会

卓話予定:「食料の安全保障」

農林水産省大臣官房食料安全保障課課長補佐
河村 仁 氏

14日(金) 休会

21日(金) 第1081回例会

卓話予定:「炭素繊維による水質浄化」(仮)

群馬工業高等専門学校

特命教授 小島 昭 氏

23日(日) ロータリアン・米山学友会・米山奨学生

懇親パーティー

17:00～20:00

アリスガーデン

Tel: 03-3497-1371

28日(金) 第1082回例会

卓話予定:「財団奨学金と私」

Horton International Japan Managing Partner
圓谷 正和 氏



7月30日

17件 52,000円 / 本年度累計 193,000円

多額のご寄付をありがとうございました。(敬称略)

東京南 RC・大西紀男会長、森村潔副会長、亀田修平幹事 / ガバナー公式訪問、合同例会を祝って。東京麻布 RC・伊藤照代会長、加藤千博副会長、辻穂高幹事 / ガバナー公式訪問、合同例会を祝って。尾関武男 / 合同例会、南 RC さんにはお世話になります。西澤民夫、高須康有、岩上義明、尾上寛、長谷川弘志 / ガバナー公式訪問、合同例会を祝って。荒木昭文 / 久邇ガバナー公式訪問を歓迎して。武下朗 / 祝、3クラブ合同例会。村山公士 / 久しぶりの3クラブによる合同例会を祝して。清水寛 / 南さん、麻布さん、いつもお世話になっております。橋本年男 / ガバナー公式訪問をお祝いして。今後ともよろしくお願いいたします。飯島規之 / 夏になりましたね、ホテルが庭に今年もいました。ニコニコ平田さんごろうさまで。小林博茂 / いよいよ猛暑です。南へ初めて寄らせていただきました。鶴間喜久男 / ガバナー公式訪問、合同例会を祝して。今日は暑いですね! 皆様、お気を付けてください。松永秀和 / ガバナー訪問、合同例会を祝して。いよいよ夏本番ですね、明日から八ヶ岳に登ります。

東京南ロータリークラブの創立から59年、赤坂クラブは23年、麻布クラブは6年になります。その間、佐久間さん、芳賀さん、清瀬さん、黒澤さんと、10年前後の間隔で当クラブの会員がガバナーを務めてくれました。しかし、黒澤さんの後は24年空いてしまいました。南クラブを出られた田辺さんが新南クラブから1989年にガバナーに選出されていますが、それでも19年も出ていないということで、今回、私のような老骨が引っ張り出されたわけです。



私は今日を皮切りに45ほどのクラブを回るほか、グアムやサイパンなどのPacific Basin Groupへの訪問に2週間要しますから、12月中旬以降まで公式訪問が続きます。週によっては月曜日から金曜日までつながっているときもあり、我ながら大丈夫かなとも思わないでもないですが、会員の中には松木さんをはじめお医者さんがたくさんおられるので、何とかかなるでしょう。

ロータリーには誠に厳しい掟があって、公式訪問では一つのクラブにつき1時間、会長、幹事、会長エレクトと懇談をしなければいけないことになっています。そのため、今日は朝から1時間ずつ、誠に実りのあるお話を伺ったために、少々くたびれてしまいました。お話の内容は主に会員増強についてで、南クラブでは会員増強維持委員会というもの今年から始められるようすし、赤坂クラブでは職業奉仕と親睦でいろいろお考えのようです。また、麻布クラブでは会員増強や奉仕プロジェクトに全員が委員になって取り組むという密度の高いプランを考えておられるようです。入会後すぐに委員に就いてもらうことで皆が一生懸命になり、退会者も少ないというお話を伺いました。これは人数が少ないという特徴を生かした、素晴らしい取り組みだと思います。

さて、パストガバナーの皆さんから、よく「クラブ訪問ではあまり難しい話ではなく、面白い話をした方がいい」と言われます。私にはそういう才能はありませんが、一昨日インターアクトの年次大会で、医科歯科大学の藤田名誉教授から伺ったお話が面白かったので、少しご紹介します。

藤田先生は変わったことをおっしゃるお医者さんで、このときも「体をきれいにしてはいけない」と、普通のお医者さんとは逆のことをおっしゃっていました。何でも、お風呂に入らない人の方が元気なのだそうで、幾つか事例を挙げて説明してくださいました。また、「笑うとNK細胞が出てきてガンにならないので、人間はとにかく笑わなければいけない」というお話もありました。確かに笑うことの大切さは分かりますが、人を笑わせるというのは、私のような人間にとってはなかなか難しいものです。

そんな私ですが、つい最近「面白いね」と言って笑ってもらったことがあります。皆様ご存じのように、東京では二つの地区が毎年交代でガバナー会の議長と副議長を務めていますが、今年は私が議長をすることになりました。ところが、7月1日にあったガバナー会は非常に荒れて、いきなりハードなスタートを切りました。実は、前議長の桜井さんのときに、年数を経たことで現状にそぐわなくなっている部分に対処していこう、現職のガバナーだけではとても手が足りないで別のメンバーを募ってやっていこうということで、ガバナー協議会というものできたのですが、「屋上屋を架す」というご意見もあって、もめたわけです。

そんなガバナー会が終わってから、旧と現と次のガバナーによる懇親会があり、私はその席上、代表してお話しすることになりました。ガバナー会には毎年名前が付けられています。私の年度の会にはまだ名前が付いていませんでした。直前の会には「三三会」という名前が付けられ

ていて、「散々な会」という意味があったのかなと思っていたら、全くそうではないということでした。それではということで、「私どもの会は2009年から2010年を任期としてるので、『くじゅう会』にしてはどうか」と提案したところ、ガバナー経験者やこれからガバナーになろうという人たちがばかりで、みんな身につまされていましたから、「今年度の議長は面白い。この調子でやっていてもらいたいものだ」と、皆さんに大爆笑していただいたというわけです。

私は会長を仰せつかった年に、「楽しくやろうよ」という標語を掲げました。とにかくみんな楽しくやりたかったので、そのような言葉が出てきたわけです。実は私はヨガをやっているのですが、そこでも口を大きく開けてわざわざ笑うことがあります。「笑え」と言われて仕方なく笑っているのですが、それだけでも効果があるそうですから、私は皆さんにもぜひ笑っていただきたいと思っています。

さて、サンディエゴの国際協議会では、会長と会長エレクトのお二人が水、飢餓と保健、識字率向上を目標に掲げておりましたが、実は、私はこれについて以前から考えていることがあるので、最後にそのことについてお話ししたいと思います。

きれいな水を水のないところに持っていくのはもちろん結構なことですが、きれいな水がどこから出てくるかというと、言うまでもなく緑の山からです。昔の日本は緑あふれる国で、明治になって日本にきた外国人たちは、みんな緑の豊かさに驚きました。何しろ江戸城の周りには3000もの大名屋敷があり、そこにそれぞれ庭園があったのですから、彼らが驚いたのも無理はありません。私が子供の頃、東京の水道水はまだおいしくて、ミネラルウォーターになどお目にかかったことがありませんでした。それが今のようになったのは、我々が山や森をないがしろにしてきたからです。

明治以降、鎮守の森は半減したといわれていますが、おそらく「公共のために」と言われれば、神社などは頭が上がり、土地を提供していったのでしょう。鎮守の森に限らず、戦後、大変な勢いで自然がなくなっていました。私は、山からきれいな水が流れてきて、それをまた灌漑用水として使うことで食糧を増産できるというシステムを世界に広めていけば、いろいろな問題が解決するのではないかと考えています。もちろん今日明日にできることではないかもしれませんが、今日から始めなければ、我々の子供や孫の時代には大変なことになるでしょう。これは私が昔から考えて、いろいろなところで言ってきたことでもあります。ロータリーが水を目標に掲げられることは結構なことですが、もう少し突っ込んで考えてはどうかと思っているのです。

また、識字率の向上については、文盲率がゼロに近い日本では分かりにくいかもしれませんが、文化的な生活を手に入れるためには欠かせない条件の一つであることは確かです。そこで、文化的な生活ということで考えていただきたいのですが、欧州では子供を非常に厳しくしつけています。私は欧州で長く暮らしましたが、電車にお年寄りや乗って来られたときに、子供が席を譲らずに座っていると、周りにいる大人が首根っこをつかんで立たせるほどです。今の日本でそんなことをするとお母さんにひっぱたかれるのがオチかもしれませんが、私はこういうことは、家庭で親が厳しく教育しなければならないと考えています。しかし、残念ながらその親が、子供のときに教育されていないのが実態ではないのでしょうか。これについて、ロータリーに何ができるかは分かりませんが、私はやはりこれも折に触れて考えていくべき問題であると思っています。

この1年、私はなかなかこちらに現れることはできないと思いますが、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。